

議事録		作成日	2018年08月31日
		運営委員長確認	運営委員確認
		済	済
会議名	カーボン・オフセット第三者認証プログラム 第2回 運営委員会		
開催日時	2018年8月30日(木) 13:00~14:30		
開催場所	新宿アイランドタワー20F モバフ新宿アイランド会議室		
参加者 (敬称略)	小山 富士雄	カーボン・オフセット第三者認証プログラム運営委員会 委員長	
	広嶋 卓也	カーボン・オフセット第三者認証プログラム運営委員会 委員	
	松尾 直樹	カーボン・オフセット第三者認証プログラム運営委員会 委員	
	鈴木 修一郎	一般社団法人カーボンオフセット協会 (理事) タスクリーダー	
	中村 豪	一般社団法人カーボンオフセット協会 (監事) タスクメンバー	
	池田 陸郎	一般社団法人カーボンオフセット協会タスクメンバー	
	眞田 陽一郎	一般社団法人カーボンオフセット協会 (事務局長)	
	井上 智博	一般社団法人カーボンオフセット協会 (事務局長)	
議事内容	<p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 2017年度事業報告 認証基準(3.1.1.3 認証番号の継続使用)の改訂 認証フロー(「登録申請料」「ラベル使用料」請求書の発行)に関する確認 今後の活動に関する意見交換等 <p>1. 2017年度事業報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 2017年カーボン・オフセット第三者認証プログラム事業の昨年度実績は、カーボン・オフセット認証案件が12件、カーボン・オフセットニュートラル案件が1件であったことが報告された。 運営委員より、カーボン・オフセット第三者認証プログラム事業についてより多くの事業者及び一般に向けて周知していくような活動を実施する必要があるとのコメントがあった。 タスクチームより、カーボン・オフセット第三者認証プログラムの周知を図るべく、今後も積極的に営業活動をする必要があり、引きつづき推進していくとの回答があった。 また、タスクチームより、カーボン・オフセット第三者認証プログラムの課題として、カーボン・オフセットを実施事業者が、カーボン・オフセット第三者認証プロ 		

グラムを受けることが義務化されていないことが挙げられ、認証を受けることによるメリットを享受できる制度構築に努めるとの回答があった。

2. 認証基準（3.1.1.3 認証番号の継続使用）の改訂

- タスクチームより、旧制度では、カーボン・オフセット認証のラベル付与はカーボンオフセット協会が対応し、カーボン・ニュートラル認証は認証機関がラベルの付与を対応していたが、新制度では、カーボン・オフセット認証、カーボン・ニュートラル認証ともにカーボンオフセット協会が対応することになっていることを踏まえ、カーボン・オフセット第三者認証基準を修正したいとの説明があり、了承された。

3. 認証フロー（「登録申請料」「ラベル使用料」請求書の発行）に関する確認

- 事務局より、年度カーボン・オフセット認証プログラムを運用していた際、正式な認証を経る前に、「登録申請料」「ラベル使用料」請求書の発行を求められることがあったことが報告された。
- 同問題にしているのは、コンプライアンス上問題となり得ることであるため、今後そのような要望に対して見積書ベースで対応してもらうようにする必要があるとの認識で一致した。

4. 今後の活動に関する意見交換等

- タスクチームより、カーボン・オフセットの取り組みは、2008年くらいがピークであったが、その後徐々に減少基調にあった一方で、近年では ESG 投資など新たな潮流になったことに伴い、カーボン・オフセットの取り組みは増加基調に転じているとのコメントがあった。また、エンドユーザーからは、カーボン・オフセットに対する確実性の担保を得るために取得されており、カーボン・オフセット認証プログラムを推進していく余地は数多あるとのコメントがあった。
- 同タスクチームより、カーボン・オフセット認証に向けたコンサルティング料金、クレジット購入代金、認証機関への審査費用、「登録申請料」、「ラベル使用料」などのコストがかかってしまう点がボトルネックとなっているとの報告があった。
- 運営委員より、なるべく価格を抑えて取り組んでもらうためには、登録する事業者が自力で対応できるところを増やす必要があり、カーボン・オフセット認証を得るためのスタンダードメニューを用意すべきであるとのコメントがあった。
- 今後もカーボン・オフセット認証を推進していくために、COA が主催するセミナーや展示会において、PR していくことで全会一致した。

以上